

# 上毛

Let's make our dreams  
come together KOGE!

2021  
一緒に夢を実現しましょう！



1 こうげ町広報 January 2021 VOL.183

CONTENTS

- 町の掲示板 ..... 2
- 町の話題 ..... 13
- カルチャー ..... 17
- 町の情報ひろば ..... 18
- 上毛の宝 ..... 20

<https://www.town.koge.lg.jp/>



FAX TEL  
福岡県筑上郡上毛町役場企画情報課  
0979-72-4661  
0979-72-4311  
印刷集  
築上印刷有限会社  
8-1-0992  
3211  
梅

人の動き  
11月30日現在

- 世帯数 3,238 (+2)
- 男性 3,619 (+2)
- 女性 3,962 (-4)
- 人口 7,581 (-2)
- 65歳以上 2,675 (+5)  
35.3%
- 75歳以上 1,421 (-2)  
18.7%
- うち外国人
- 人口 57 (±0)
- 男性 35 (+1)
- 女性 22 (-1)
- 世帯数 54 (±0)  
(うち混合世帯5)

参考  
平成17年10月11日  
合併時  
●人口 8,499  
●世帯数 3,057

- ごみの量  
11月30日現在
- 可燃ごみ 140.96t (+3.57t)
  - カン・ペットボトル 2.22t (-1.05t)
  - びん 2.60t (-0.90t)
  - 古紙他 9.00t (-2.26t)
  - 可燃粗大 4.28t (-1.80t)
  - 不燃 9.77t (-1.27t)
  - プラスチック製容器包装 1.94t (+0.39t)
  - 紙パック、白色トレイ 0.07t (+0.03t)
- ※( )内は前月増減

VEGETABLE  
OIL INK  
環境対応型植物油インキ  
を使用しております。

1月4日(月)令和3年上毛町成人式にて記念講演を行っていた  
深堀 隆介さんをご紹介します。

現代美術作家  
**深堀 隆介** Fukahori Riusuke

上毛町の皆さん初めまして。深堀 隆介です。  
アート作品の制作、展覧会や作品販売をしています。  
20年前より金魚に魅了され、現在は金魚の作品のみを  
制作しています。

※プロフィールなどは広報12月号4ページをご覧ください。

子どもの頃から絵が好きで、小さい頃はクラスの絵かき担当でした。大学では芸術大学を選択。大学卒業後、一度は会社に就職しましたが、内から湧き出る創作意欲を止められず、自分が活躍できるのはアートの世界だと思うようになりました。会社を退職しこの世界に飛び込みました。しかし、作風もなく、後ろ盾もない状況では、絵も売れずなかなかうまくいきませんでした。ある時個展でお客様から酷評を受け、自信をなくしてしまい、自宅で「もう作家を辞めよう」と思ったとき、部屋で飼っていた1匹の金魚が目とまり、何かに突き動かされるように金魚を描き始めました。金魚すくいでとってきた金魚でしたが、その時見た金魚は、どんな高級な熱帯魚よりも美しく見えました。数か月後その時の金魚の作品が東京銀座のショーウィンドウコンペで選ばれて銀座の街に飾されることになり、大きな反響を得ました。金魚を題材にした作品は不思議とどんどん世に広がっていき、透明樹脂に直接絵を描く新しい絵画技法・減面積層絵画(2.5D Painting)を考案するなど、精神的にも経済的にも自分を救ってくれました。

樹脂という素材は、誕生して100年も経ていません。まだまだ開発途中の素材です。現在新しい樹脂を開発している技術者の方々とも連携しながら、技法や表現方法も向上するよう努め、これからもより良い作品を作りたいと思います。また樹脂以外の素材を使った表現にも挑戦していきたいと思います。好きなことを仕事としているので、ストレスがあっても乗り越えられるところが私の仕事の魅力です。また、自分の作品を見てお客様が楽しんでくれたり感謝されたりすると、とても嬉しい気持ちになります。作家として「新しい表現がで



きないか」とドライブ中も食事中も就寝する時まで、四六時中作品のことを考えています。今までに見たことのないものを生み出すことが作家の役割でもあるからです。ただ一方で、普通の一人の人間として家族やスタッフの生活のために働いている感じです(笑) 私は歴史好きで、特に日本古代史が好きです。古代史が好きな私から見ると、上毛町周辺は、きっと太古より栄えたところだと思います。宇佐神宮へ向かうための勅使街道などが近くにあることが、それを物語っています。そんな歴史ロマンを感じる上毛町に来ることができて本当に光榮です。今年20歳を迎える次世代の皆さんは、これから社会人としていろんな経験をすると思います。どんなに年をとっても故郷で育ち培われた経験は決して忘れません。上毛町を誇りにしてこれからも羽ばたいて欲しいです。2020年はコロナという新しい脅威に翻弄された年でした。これからへの未来がどうなるかわかりませんが、ともにこの苦境を乗り越えて明るい未来に変えていきましょう。

2021年3月12日から長崎県美術館の県民ギャラリーで個展「金魚鉢、地球鉢」が開催されます。その後、岩手県立美術館、高知県立美術館、神戸ファッション美術館を回ります。また、上毛町の近くでいうと豊後高田市役所には、2016年に行われたイベントで描いた私の金魚の絵が飾られています。どちらもご興味がありましたらお越しください。

大平保育所



町の未来を担う「上毛の宝」

みんなの気持ちを一つに…  
生活発表会！

12月5日(土)に1年間の保育生活の集大成である生活発表会を開催しました。

今年は、密集、密接を避けるため、例年の運営方法を見直し、0歳と1歳を第1部、2歳と4歳を第2部、3歳と5歳を第3部とし、保護者の入れ替わりと換気の時間を設けながら、全体を3部に分けて行いました。

子どもたちは、朝から緊張した面持ちで出番を待っていましたが、いざ本番になると練習の成果を見てもらおうと一生懸命に頑張りました。演技が終わると充実感あふれる表情がとても印象的でした。

コロナ禍の中でも力強く、たくましく、元気いっぱいに成長する子どもたち。その姿にみんなで感動した素敵な発表会になりました。

